

国際外語・観光・エアライン専門学校 日本語科
自己点検・評価報告書
(2025年6月実施)

A:達成(適合) / B:ほぼ達成 / C:取り組み中(一部未達成) / D:要改善

1. 運営理念・教育目的 **評価**

1-1 運営理念・教育目的は定められているか。	A
1-2 運営理念・教育目的は日本語教育機関として妥当であるか。	A
1-3 教職員に対して、運営理念・教育目的を明文化し周知しているか。	A
1-4 運営理念・教育目標に基づく教育が行われているか。	A

<1の自己点検に対する評価報告>

当日本語科は、日本語教育を通し自己の可能性を広げ、環境に適応し、さらに関係する人々を、国々を繋げることのできる力を持つ人材の育成を目指している。環境の変化がもたらす状況を受け入れ、日々進化することで学校のみならず、新潟市・新潟県・国家・世界に先鞭をつけることができるダイナミックな学校文化を醸成することを運営理念としている。

2. 全体運営 **評価**

2-1 運営理念・教育目的に沿った運営方針が定められているか。	A
2-2 運営理念・教育目的に沿った事業計画が定められているか。	A
2-3 運営組織や意思決定機能は確立され、効率的なものになっているか。	A
2-4 危機管理体制は整備されているか。	A
2-5 施設・設備は教育上の必要性、及び安全性を考え整備されているか。	A

<2の自己点検に対する評価報告>

運営の意思決定機能に関しては、透明度の組織体制の中、IT化を促進しながらその効率と明瞭さを備えている。危機管理体制については、普段からのリスクヘッジを心がけ緊急事態の発生を最小限にすべく取り組んでいる。施設に関しては、毎年の消防点検、防災訓練はもちろんのこと、日々の生活における整理整頓、教室美化、校舎美化を行っている。施設、教具に関しては全教室に電子黒板を設置し、効果的な運営を可能としている。

3. 教職員	評価
3-1 教職員の入国管理法等の関係法令に対する知識・理解は十分あるか。	A
3-2 教職員の進路に関する知識は（進学・就職）は十分あるか。	A
3-3 教職員の能力向上のための取り組みを計画的に行っているか。	A
3-4 教職員の対人コミュニケーション力は十分あるか。	A
3-5 教職員評価を適切に行っているか。	A
3-6 結果に基づく教職員面談が行われているか。	A
3-7 教職員の健康診断は定期的に行われているか。	A

< 3の自己点検に対する評価報告 >

教職員間の知識・コミュニケーション力は十二分に備えている。教職員間での勉強会、授業見学等を行い技術の向上を目指すと共に、教職員に対しては年2回の面談・評価を行っている。

4. 学生の募集と受け入れ	評価
4-1 学生の受け入れ方針は定められているか。	A
4-2 学生募集活動は、情報公開等、適切に行われているか。	A
4-3 海外の募集期間の活動が適切に行われているかを把握しているか。	A
4-4 入学選考は適正かつ公平な基準に基づき行われているか。	A
4-5 適正な定員設定及び、在籍数になっているか。	A
4-6 募集にかかわる書類は適切に管理されているか。	A

< 4の自己点検に対する評価報告 >

在留資格申請については、出入国管理庁の及び文部科学省の方針に従い適正に行っている。現地面接もしくはWEB面接にて学習意欲と目的について確認し、経費支弁者の支弁能力については書面及び謄本の提出によって確認している。当校の情報についてはホームページ (<http://air.ac.jp/japanese/>) 及び、Instagram、LINE、YouTubeにおいても公開している。出入国管理庁提出の資料については、校内にて適正に管理、保管している。

5. 教育内容・教育活動・実施体制	評価
5-1 教育理念・目標が定められているか。	A
5-2 教育理念・目標が文章化され教職員間で共有されているか。	A
5-3 組織機能図はあるか。	A
5-4 年間スケジュールはあるか。	A
5-5 カリキュラムは体系的に編成されているか。	A
5-6 授業シラバスが作成されているか	A
5-7 教員間のチームティーチング体制の円滑な運営ができていますか	A
5-8 成績評価、進級・卒業判定は適切に行われているか。	A
5-9 随時、教育内容・教育活動の改善のための振り返りがされているか	A
5-10 行政・地域との連携を図っているか。	A

<5の自己点検に対する評価報告>

教育内容・教育活動・実施体制については達成できている。
 さらにチームティーチング体制をより強化し、学生のニーズに合わせた教育の実施、
 進学・就職の指導ができるよう、今後も更に工夫を重ね、より一層の努力を続ける。

6. 学生支援・安全管理	評価
6-1 アパート・アルバイト等、学生の環境活動への支援は行われているか。	A
6-2 学生の心身の健康管理・事故・怪我サポート体制は有効に機能しているか。	A
6-3 対象となる学生全員が国民健康保険に加入しているか。	A
6-4 学生の健康診断を定期的に行っているか。	A
6-5 入学者に対する学習、生活、安全等のオリエンテーションを行っているか。	A
6-6 学習・進路・生活指導等、担任による面談が定期的に行われているか。	A
6-7 保護者や経費支弁者等と適切に連携しているか。	A

<6の自己点検に対する評価報告>

学生支援・安全管理については適切に運営されており、問題なし。

7. 在留管理・法令遵守 評価

7-1 在留関係の管理、指導・支援が適切に行われているか。	A
7-2 不法残留、資格外活動違反、犯罪等を防止する取り組みを行っているか。	A
7-3 入管法上の留意点について、学生への伝達・指導を行っているか。	A
7-4 我が国の法令を遵守させる指導を行っているか。	A
7-5 常に最新の学生情報を把握しているか。	A
7-6 個人情報に対し、その保護のための対策がとられているか。	A
7-7 出入国在留管理局等への関係省庁への届出・報告を漏れなく行っているか。	A
7-8 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか。	A
7-9 自己評価の結果を公開しているか。	A

< 7の自己点検に対する評価報告 >

在留管理・法令遵守については適切に運営されており、問題なし。

8. 財務 評価

8-1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているか。	A
8-2 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。	A
8-3 財務についての会計監査が適切に行われているか。	A
8-4 財務情報公開の体制整備はできているか。	A
8-5 物品等（消耗品、貯蔵品等）の在庫管理をしているか。	A
8-6 施設設備の保守・管理が定期的に行われているか。	A
8-7 物品購入等における複数業者からの確認がされているか。	B

< 8の自己点検に対する評価報告 >

財務については適切に運営されており、問題なし。